

# 「民族共生の象徴となる空間」整備による白老町活性化推進会議

## 4 部会合同会議

平成27年7月14日（火）

16:00～18:00

白老町コミュニティセンター

### 次 第

#### 1 開 会

#### 2 議 題

##### (1) 全体会

- ① 現在までの取組み経過について ※資料1
- ② 今後の取組みについて ※資料2
  - ・ 先進地視察研修
  - ・ 「推進プラン」策定
- ③ 象徴空間周辺環境整備に関する国との調整について ※資料3

##### (2) 部会ごとに進行

- ① 「推進プラン」の事業素案の説明
- ② 今後の取組みについて

##### (3) 報告

- ① 部会報告

#### 4 閉 会

**平成27年度「民族共生の象徴となる空間」整備による  
白老町活性化推進会議 4部会合同会議 議事録**

日 時 平成27年7月14日（火）16:00～18:00

場 所 コミュニティセンター201号室

出席者 各部会員35名 事務局5名

**●開 会**

（事務局）

- 4部会合同部会を開催する。本年度の取組である象徴空間活性化推進プラン事業計画の策定にあたり、各部会において検討に入っている。今後のグループ検討の参考に供するための事務局案を提示する。象徴空間の整備エリアについて、国への提案の基となる町の考え方を説明するので、各委員のご意見をいただきたい。
- 全体会では、「取組経過と今後の取組について」と「象徴空間整備状況と調整について」事務局より説明、その後部会ごとに分かれてそれぞれの部会が担う推進プランのたたき台を事務局から説明する。最後に、今後の取組について部会ごとにまとめていただいた結果を、4部会からご報告いただく。
- 今回この推進プランを策定するにあたり、白老町より㈱JTB 総合研究所に業務委託をすることになったので紹介する。

**（1）これまでの取組経過について（事務局より説明）**

- 現在までの取組経過（資料1）について説明する。
- 全体会として白老町活性化推進会議の総会を4月20日に開催。平成26年度の事業報告と27年度の事業計画および活性化基本構想の策定についての承認を得た。事務局会議は、4月27日以降4回開催した。専門部会は、6月5日に教育部会、6月16日に情報部会、6月30日に活性化部会が行われた。そして本日4部会合同会議の開催となった。  
また、議会に設置された調査特別委員会には4月15日に国と町の経過と今後の予定について説明した。
- 6月29日に今回の象徴空間活性化推進プラン調査・策定委託業務にかかる審査会を実施し、プロポザール方式により3社の中から選定委員会による採点の結果㈱JTB 総合研究所が採択され、7月1日に契約を行った。

**（2）今後の取組について（事務局より説明）**

- 先進地視察については、各部会で視察先を選定して9月までに実施していただくことになっている。情報・教育部会と活性化・基盤部会の2班に分かれて視察を進めていただきたい。道内（阿寒・富良野）を視察先に考えていると聞いているが、今日の部会の中で討議していただきたい。
- 推進プランの策定については、8月中を目途に具体的な取組の検討をしていただく。こ

れから企画課の素案を説明させていただき、それを各部会で揉んでいただく。各部会案についてJTB総研のアドバイスをいただきながら構築してゆくことになる。

- 議会に対しては8月中旬に進捗状況の報告をしたいと考えている。
- 推進プランについては、来年3月を目途に策定するが、来年度予算が必要な事項については、予算要望のため10月までに取りまとめた。
- その後各部会で推進プランを確定し、町民のパブリックコメントを集約し、3月には計画を確定させたいと考えている。

### **(3) 象徴空間周辺環境整備に関する国との調整について(事務局より説明)**

- アイヌ文化博物館は、基本構想と基本計画を、民族共生公園については、基本構想がまとめられているが、配置・設計等の詳細は決まっていない。そのため、町としての要望は今のうちに国に伝えておく必要がある。
- 7月17日に内閣官房のアイヌ総合政策室北海道分室と施設整備に関する初めての協議を行う。22日には北海道開発局の都市住宅課との協議を行う予定である。
- 町の方針として、温泉施設、駐車場、バス待機場、飲食施設、物販施設は地元で整備して管理運営するという方向で検討している。施設の規模や整備主体、運営主体については、今後国の計画の進捗に合わせて検討してゆくことになる。
- 国に対して要望と整理してほしい課題を伝えたい。古式舞踊を公演するためのホール、国際会議が開催できる大会議室の整備について、担当省庁や規模などを早めに具体化するよう要望したいと考えている。上記設備の有無や規模は、象徴空間の入込客数や滞留時間への影響が大きく、駐車場のキャパシティや飲食施設の規模にも影響する。
- 象徴空間の入口の場所についても早めに明確にするよう国に要望していきたい。
- 国の施設がオープンした後も、チェップ祭などのイベントで白老町が施設を利用できるよう要望していきたい。
- ポロト湖畔には町有地と白老振興公社の所有地とがある。象徴空間を造るにあたり譲渡や貸与という方法もあるが、地元としては国に購入してもらいたいよう要望したい。
- 誘客やおもてなし面での要望も国に伝えていきたいと考えるので、要望を出していきたい。
- 「象徴空間周辺整備イメージ図」は、あくまでイメージであり、この予定で進めて行くというものではない。象徴空間の入口の場所によって、駐車場などのゾーニングがどう変わるかということを考えるためのものである。これを元に国の意見を聞きながら、部会で議論していきたい。地元で経済効果が生まれるような形で基本計画に反映されるように、議論を重ねてゆきたい。今日はあくまでスタート地点であり、今後皆さんにいろいろな面でのご意見を頂戴することになる。

(事務局)

- 今の説明について質問はあるか。

(部会委員)

- イメージ図の古式舞踊公演のためのホール、国際会議のための大会議室の整備というの

は、イメージ図ではフィールドミュージアムの場所か。

(事務局)

- 体験交流施設の場所を想定している。
- フィールドミュージアムは、現在もイオルの植栽と木道があるが、あくまで植物の見本園のようなものを想定している。博物館は文化庁で整備し体験交流施設は国交省で整備することになっているが、公園の中で整備可能な施設は「体験交流施設」という名称になってしまう。したがってホールや会議室も体験交流の位置づけで整理している。しかしながら、文化庁の管轄する博物館内にシアターや劇場の形で整備することも考えられる。
- 有料の施設を想定している。

#### (4) 各部会ごとの協議及び各部会のとりまとめ

(事務局)

- ではこれから4部会に分かれて討議を始めていただく。  
(部会別に推進プラン策定に係る事務局(案)について事務局より説明後、質問・意見交換を行う)

(事務局)

- 各部会で検討された内容を発表していただく。
- (教育部会)
- 教育部会の中でも取組についてはある程度話し合っていたので、噛み合う部分が多かったが、今すぐできることと将来することを整理するのを感じた。例えば「白老地元学」などのノウハウをどのように学ぶのか、「白老今昔」は誰がどのタイミングで書き起こすのかなど、具体化に向けた課題が多い。
  - また、「多文化一貫教育」では白老はすでに先進地域であり、さらに必要な要素は何かという意見もあった。
  - 町内にとどまらず、町外に広げて行き、町外からヒト・モノ・カネを集めることが必要である。
  - アイヌ文化を町民にどう伝えて行くか、そしてアイヌの人たちの尊厳をどう重んじるかという点を間違えないようにしたい。
  - そのためのテキスト化(本・DVD・漫画など)をすぐにも始めるべきである。
  - すでにある「元気町音頭」が活用されていない中で、新たなイメージソングを作るのであれば、かなり曲やアレンジの必要がある。
  - 視察については、8月下旬に阿寒、知床を中心に2泊3日で周りたいという意見であった。

(情報部会)

- 情報部会では、今回の事務局案をもとに協議したが、部会の案と事務局案とで重複しているものも多いので、そのあたりを今後精査して固めて行くという意見であった。
- 情報発信については、マーケティングリサーチを行って、世代別や媒体別の認知度特性

などを調べることを検討していきたい。SNS などでの情報発信は若い世代には向いているが、高齢者にふさわしい情報発信方法の検討も必要である。

- 施設の名称にアイヌ語を多用して、子供のころからアイヌ文化に触れるような施策を加えてはどうかという意見があった。
- アイヌ民博を活用して象徴空間の PR をしっかり行ってはどうかという意見もあった。
- 今後については月 1 回程度情報部会を開催してゆくが、それ以外でもご意見やアイデアがあれば随時いただくようにしたい。委員の意見を反映して推進プランの内容決定を 9 月末までにしたいと考えている。
- 視察については特に希望は出ていないが、阿寒のホテルで部屋の名称にアイヌ語を取り入れているという例もあるようなので、道内も視野に入れて検討していきたい。

(基盤整備部会)

- 基盤整備部会では、2 点にまとめられる。
- 視察はできるだけ早い時期に阿寒・富良野方面に視察に行きたい。
- それを持って 7 月 23 日に開催予定の部会で行う検討材料としたい。

(活性化部会)

- 活性化部会では、企画課の素案を聞いた後に非常に多くの意見を出し合った。
- この事業の根幹をなす入場見込数などの裏付けがなければ、事業の想定がしにくい。そのあたりの情報提供をもっとお願いしたい。
- 地域性や利害関係の絡む部分が多くあり、各団体を代表しているメンバーがいるので、可能性のあるものについては優先順位をつけて早急に対応していきたい。特に「アイヌに感謝する日」については、国で定める祝祭日という方向もあるが、白老町独自で先に定めるという考えもあるのではないか。
- 現在の財団の施設を訪れる観光客が修学旅行で来る学生や外国人の持っている観光ニーズを精査して、そのニーズに合った文言づくりや取組を行う必要がある。
- 今後は何回も議論を重ねて作り上げていきたい。
- 視察研修は阿寒・富良野以外の新しい提案はなかった。

(事務局)

- 各部会活発な議論がなされた。実際に 5 年後を考える際に難しい点もあり、これまでに経験をしたことのないことを想定することになるため、困難な状況もあると感じた。しかし、白老町の活性化の起爆剤となる機会はまだ二度と訪れることはないという気概を持って真剣に取り組むべきだという声もあった。
- 企画課では地方創生で人口減少対策を中心に同時に検討している。白老町としては象徴空間が人口減少対策に結び付くようにしていきたいと考えている。今後も皆さんの真剣な議論の中で将来の白老町を作ってゆくようにしたい。

# 資料 1

## 平成 27 年度 事業経過報告

月 日	事業内容	補足説明
<b>【全体】</b>		
4月20日(月)	白老町活性化推進会議総会	H26 事業報告、H27 事業計画 活性化基本構想策定
7月29日(水)	合同学習会	まちづくりの運営手法について
<b>【理事会】</b>		
7月30日(木)	第1回理事会	今後の取組み、国との調整について
<b>【幹事会】</b>		
7月30日(木)	第1回幹事会	今後の取組み、国との調整について
<b>【事務局】</b>		
4月27日(月)	第1回事務局会議	平成27年度の取組み方針の確認
5月15日(金)	第2回事務局会議	作業スケジュール、運営手法
5月25日(月)	第3回事務局会議	新・地域再生マネージャー事業
7月13日(月)	第4回事務局会議	4部会合同会議に係る打ち合わせ
<b>【専門部会】</b>		
6月5日(金)	教育学習部会	組織構成、今年度の取組みについて
6月16日(火)	情報専門部会	組織構成、今年度の取組みについて
6月30日(火)	活性化専門部会	組織構成、今年度の取組みについて
7月14日(火)	4部会合同会議	今後の取組み、国との調整について
7月23日(木)	基盤整備部会	今後の取組みについて
<b>【議会】</b>		
4月15日(水)	調査特別委員会	国・町の経過と予定

6月29日(月)	<p>「象徴空間活性化推進プラン調査・策定委託業務」に係る審査会を実施 ・プロポーザル方式で進め、3者からの提案を得る。 ・選定委員会による採点の結果、最高得点者の(株)JTB総合研究所を最適提案者とし、契約に係る協議を進めることとした。</p> <p><b>【委託業者】</b> 住 所：東京都千代田区鍛冶町二丁目6番2号 業者名：株式会社 JTB総合研究所 契約締結日：7月1日</p>
----------	---

## 今後の取組みについて

### 1 先進地視察

- ・各部会にて視察先を検討し9月までに実施する。

A班 情報・教育部会

B班 活性・基盤部会

### 2 「推進プラン」策定

STEP1 具体的な取組みの検討 8月中

①施策ツリーの作成（たたき台）

②JTB総合研究所からのアドバイスをいただきながら進行

STEP2 議会調査特別委員会 8月ごろ

・「推進プラン」策定に係る進捗状況の報告

STEP3 具体的な取組みの検討（H28年度予算要望のための）

①施策ツリーの具体事業の順位付け

②経費積算

STEP4 平成28年度事業費要望 10月中

STEP5 案の最終検討

STEP6 案の完成

STEP7 パブコメの実施 2月

## 「民族共生の象徴となる空間」整備事業の推進について

昨年6月、アイヌ施策推進会議を経て、「象徴空間整備管理運営基本方針」が閣議決定されるなど、「アイヌ政策を推進する議員の会」の皆さまの御尽力と感謝を申し上げます。

現在、白老町では、先住民族アイヌの文化振興・発展の拠点となる「民族共生の象徴となる空間」の整備について、国へ具体化に向けた検討をお願いしているところであります。

つきましては、

- 1 施設名称の早期決定
- 2 アイヌ古式舞踊公演のためのホール・大会議室の整備
- 3 文化伝承事業に係る人材育成事業の継続

これらにつきましては、多くのお客様を迎えるためには、必要不可欠なものと認識しているところです。

5年後に迫った公開に向け、引き続き整備事業の推進に特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年8月1日

「アイヌ政策を推進する議員の会」

会長 今津 寛 様

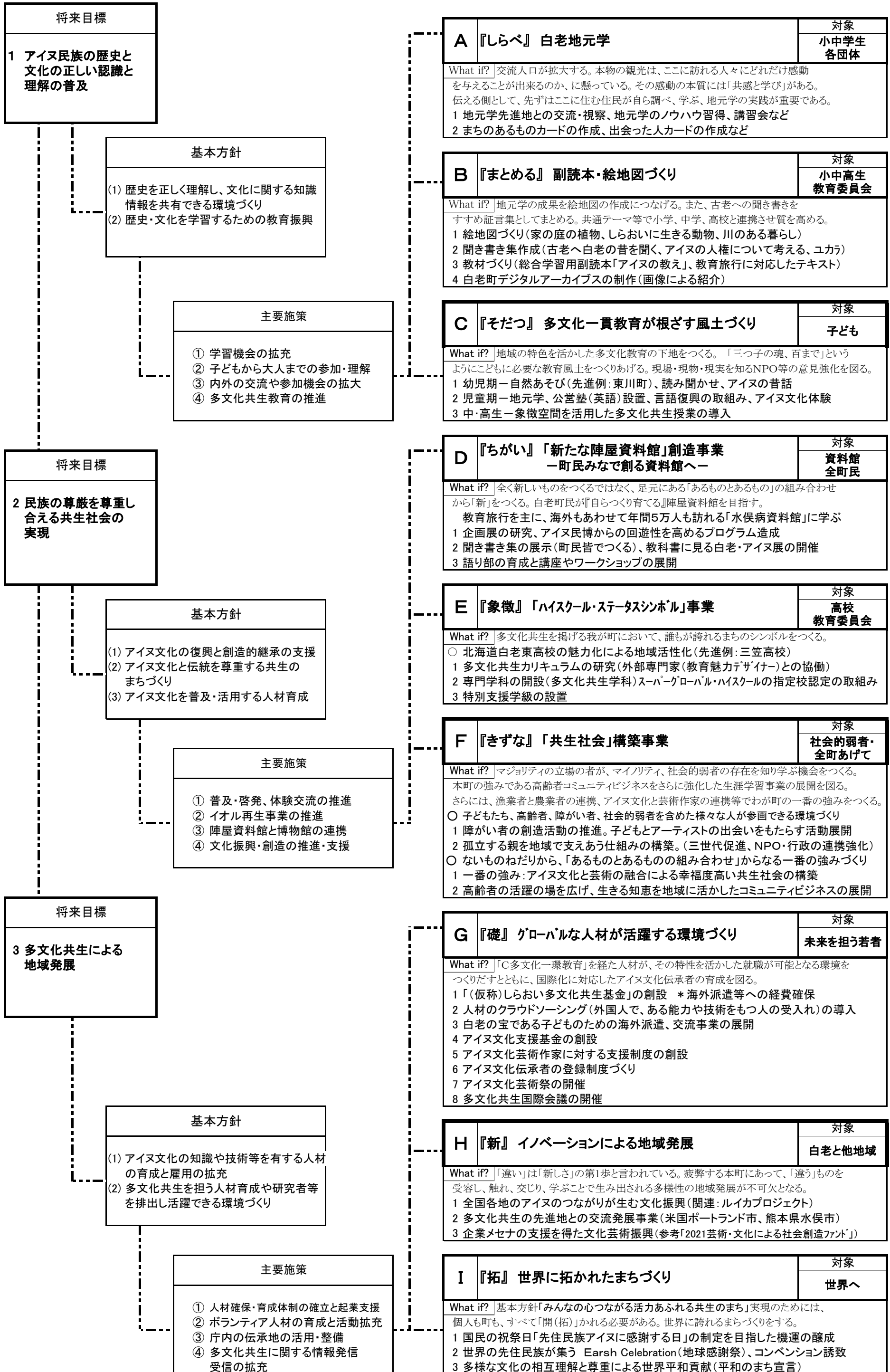
「民族共生の象徴となる空間」整備による

白老町活性化推進会議会長

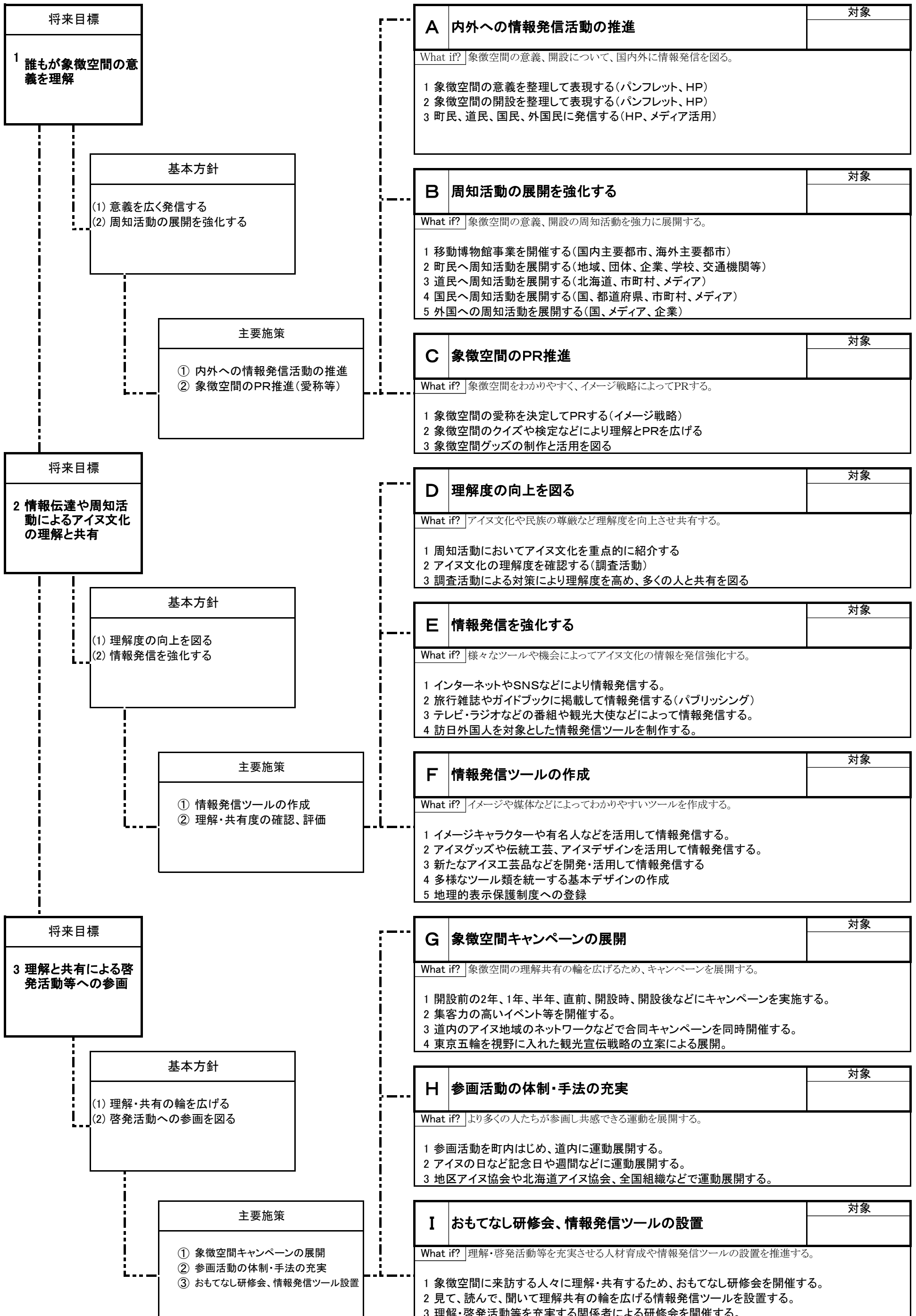
白老町長 戸田 安彦



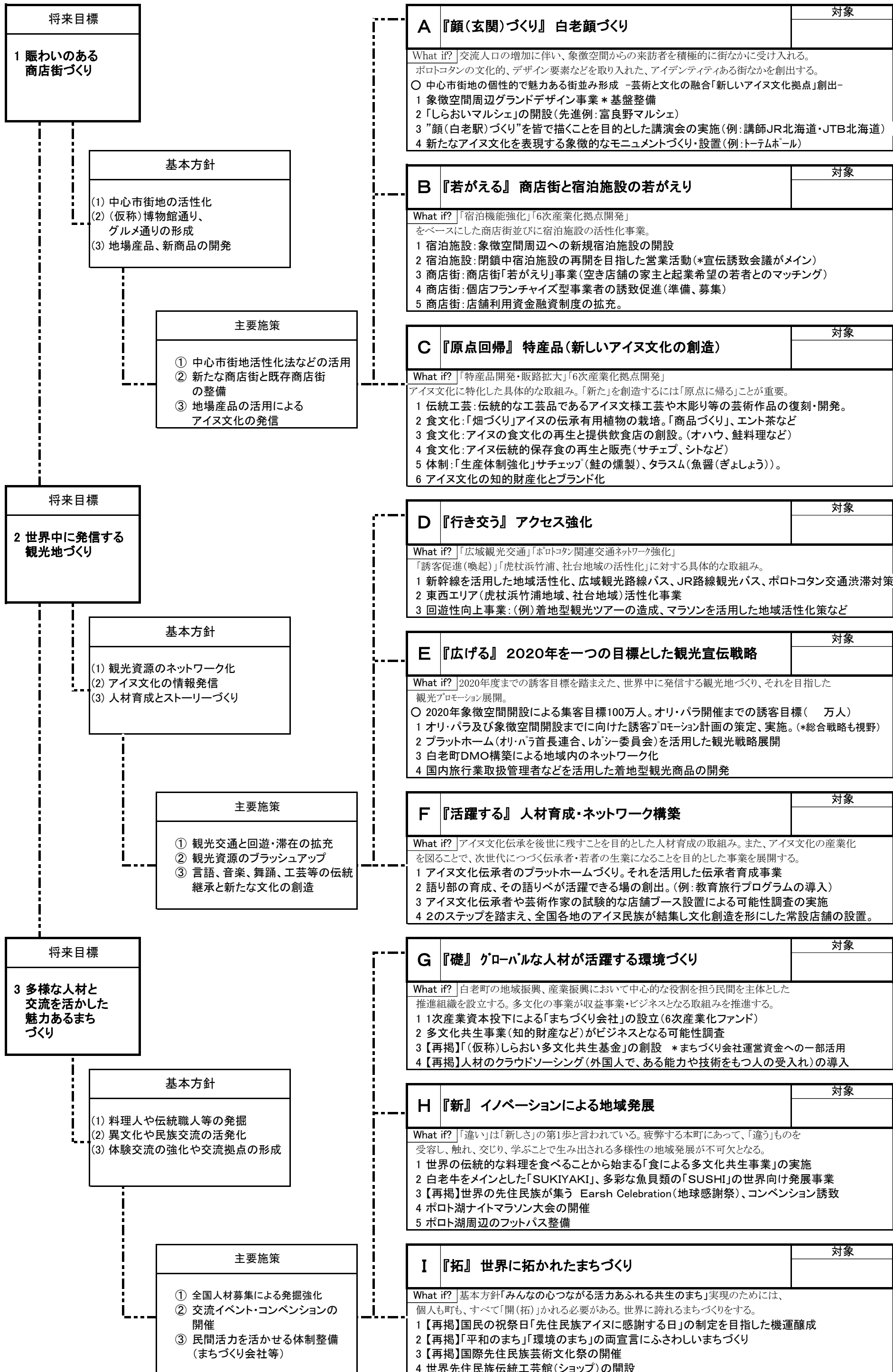
# Object Tree(教育部会)



# Object Tree (情報部会)



# Object Tree(活性化部会)



# Object Tree(基盤整備部会)

